

楷

第五十三号

岡山大学
附属図書館報
OKAYAMA UNIVERSITY
LIBRARY BULLETIN

KAI

No.53

2011
OCTOBER



<写真>

ハタフリムシ
蟬 蛸

夏秋ノ間多シ身長ク
頭細ニシテ小ナリ尾トヒトシ

「備前国備中国之内領内産物絵図帳」より（岡山大学附属図書館池田家文庫所蔵）

— 目 次 —

- 図書館へ行こう（附属図書館長 神崎浩） p. 2
- 学生と附属図書館長・鹿田分館長の懇談会（学術情報サービス課） p. 5
- ご存じですか（六高図書）（情報管理課） p. 6
- 活用してありますか？ “マイライブラリ”（学術情報サービス課） p. 8
- NACSIS-CAT/ILL ワークショップ参加報告（基盤グループ 大園隼彦） p. 9
- マスカット p. 10
平成 23 年度池田家文庫絵図展のお知らせ、岡山大学学術成果リポジトリ（OUSAR）が
世界 16 位に躍進、ほか
- 会議・研修・編集委員会から p.20

図書館へ行こう

神 崎 浩

はじめに

本年4月から図書館長に任命されて、恥ずかしながら最近ほとんど図書館を訪れていないことを改めて意識した。これは多くの理系教員に当てはまる現実であろうと思う。それは情報の電子化、インターネットによる情報共有の発達により、図書館に行かなくても研究情報が簡単に集められるように成ったためと考えられる。文系の学生や教員の情報はあまり判らないので理系とは違った状況が有るとは思うが、岡山大学構成員の半数以上を理系が占めることを考えると、これらの状況変化がおこる前と後とは図書館へ行くモチベーションは大きく変わっているのは事実であろう。

今回改めて図書館の必要性を考え、どのようにすればユーザーである学生諸君に図書館を利用してもらえるようになるか私なりに考えてみることにした。



岡山大学附属図書館は魅力的か

私が20数年前に岡山大学に赴任した際には、現在の新館はまだできておらず、教員学生の規模に見合った図書館とは言えない状況であった。でも岡山大学筋から見通せる時計台は岡山大学人にとって誇れる建物であるのは今も昔も変わらない。また、岡山大学津島キャンパスは全国に誇る巨大な敷地面積を誇っており、さらに新幹線の駅から歩いてくることができる立地条件、北海道大学のポプラ並木に引けを取らないキャンパス内の銀杏並木、キャンパスに隣接し時計台の借景とも言える緑あふれる半田山などの中心にそびえ立つ図書館の時計台は大学人だけでなく地元住民の方にとっても地域の誇れるシンボルとなっている。

時計台の魅力は十分なのだが、図書館に入ってもらえる魅力は十分だろうか。岡山大学附属図書館には池田家文庫という貴重コレクションがあり、これはその分野の研究者ばかりでなく一般の方々からも魅力的なものとして注目されている。ただ、岡山大学の学生・教員からは貴重コレクションより自らの分野の研究・教育にとって魅力的であることが要求されていると思われるが、必ずしも十分と言える状況ではないようである。最初にも述べたが、図書館の存在意義がかなり変化している現在、その状況下で図書館がどのようなサービスを提供していくことが必要なかを時代の流れに応じて対応していくことが求められていると思われる。

ラーニングコモンズとは

図書館長の立場と成ってから、ラーニングコモンズという言葉が頻繁に聞くようになった。しかし、私はそのような言葉を意識したことはこれまでほとんどなかった。

この言葉について、JapanKnowledge (新語探検 著者: 亀井肇) では次のように説明している。

1990年代からアメリカやヨーロッパの大学図書館で使われ始めたことばで、日本語では「共有の場」といった意味合い。これまでの重厚で堅い大学図書館のイメージから、新しい図書館の姿を表現するものとして使われるようになってきている。パソコンを自由に使えるスペースを設けたり、丸い形のテーブルや座り心地のいいソファを設置してコーヒーを飲みながら話ができるカフェなどを併設している場合もある。図書館はただ本を借りるだけ、あるいはそこで静かに調べ物をしたりするだけの場所ではなく、仲間とともにディスカッションをしたり、自分たちが情報を発信する場にもなるように変えていきたいという意向がある。

どの大学附属図書館もどのようにして図書館を有効に利用してもらうかが課題になっており、その解決策としてラーニングコモンズという言葉が使われているように私は思う。ラーニングコモンズという考え方は有意義であり、そのために必要なハード面の充実は不可欠であろう。しかしもっと大事なのはそのような場があったとしてどのように使っていくのかを大学の構成員、特に学生諸君に判ってもらうようにしていくことだと思う。

理系の教育研究は電子ジャーナルで十分か

最初にも述べたが、理系の研究報告はほとんど電子ジャーナル化され、簡単にインターネット上から手に入れることができる（各大学が巨額の資金をつぎ込んでいるのだが）ため、分野に拘らず研究のためにわざわざ図書館に行って研究情報を仕入れる必要がなくなっている。しかし学生教育は必ずしもそうではない。電子ジャーナルやインターネット上の情報だけで得られない情報が教科書や参考書には詰まっており、それを自らが読んで考えることによりその学問分野の知識が深まり、それが自らの研究にも生かされるのである。

私は助教授（准教授）になって以降一人で講義をいくつか担当するようになり、学生に受験勉強とは異なる本当の勉強の仕方を教えることの大切さを痛切に感じた。高校時代に受験勉強に明け暮れてきた彼らにとって答えがある課題にチャレンジすることは簡単に行えるのだが、正解がないような課題を与えると急に「答えはありますか」という質問が来る。これには「図書館にある資料を調べて自らがまとめたレポートで私を納得させられるレポートを作りなさい」と返事している。この対応を今年から少し変えてみた。「図書館の資料を使ってなおかつ複数の同級生でまとめたレポートを作りなさい」とコメントしたところ、大きな反響があった。学生達は友人と相談してレポートを作ってはいけなく思っていたこと、友人と相談すると効率的なレポート作成ができるようになったとコメントしてきたことである。これこそがラーニングコモンズにつながると私は今考えている。ラーニングコモンズは図書館でしか達成できない事ではないが、教科書、参考書を含めた多くの資料が図書館にはあり、それに詳しい図書館員がいる。それらを利用して仲間とともにディスカッションできるのは図書館において他にない。

大学入試に明け暮れてきた学生諸君が自ら大学における研究に意義を見だし充実した大学生活を送るため、さらにはそのようにして培った勉強方法を社会人に成っても生かすために図書館でしかできないラーニングコモンズ環境を整えていくことが重要と思われる。そのためには教員に、複数で学習することの楽しさ、それを行ったことにより得られるものの多さを学生

諸君に教育することの重要性を理解してもらうことも大事であろう。そのためにはラーニング・コモンズの意味を良く理解している図書館員が教員と交流することが不可欠なのであろう。

おわりに

『学校へ行こう』は1997年から11年間にわたってTBSで放送された学校教育バラエティ番組で、「学校」をテーマに、みのもんたが校長となりV6メンバーが直接学校などへロケに出向き、学生達と出会ったり様々な企画を行ったテレビ番組である。私も時々見ていたが、生き生きとした学生が出演していたように思う。あんな学校に行ってみたくて多くの中学生・高校生が思っていたに違いない。今回のタイトルとして示した『図書館へ行こう』と岡山大学構成員が思うようになるためにはやはり魅力的な図書館を作っていくことが一番必要とされている。建物や所蔵している本などの物質的な魅力はもちろん必要だが、図書館に行かなければできないことを図書館員・教員が一体と成って学生諸君に伝えていくことが最も大事だと思う。館長としてそれを少しでも達成できるようがんばりたい。

(かんざき・ひろし 附属図書館長)

学生と附属図書館長・鹿田分館長の懇談会

学術情報サービス課

附属図書館では、学生の皆さんのご意見を取り入れてより快適な学習環境を整備するため、平成 18 年度から学生の皆さんとの懇談会を開催しています。これまでの懇談会でも数々のご要望をいただき、開館時間の延長、貸出冊数の増加、冷房時間の延長、アメニティコーナーの設置などを実現しています。

今年度も例年どおり開催しましたので、以下に報告いたします。

平成 23 年度 第 1 回 学生と附属図書館長の懇談会（中央図書館）

日 時： 平成 23 年 7 月 6 日（水）14:30～15:55

場 所： 附属図書館大会議室

出席者： 学生 11 名、図書館 8 名

昨年度から開催方法を変更して全学部・研究科から順にご出席いただくこととなり、今回は教育学部、環境理工学部、教育学研究科、環境学研究科の皆さんにご出席いただきました。資料、サービス、利用方法等について活発なご意見をいただき、特に広報についてどう周知するかが大きな課題となっていることが分かりました。ご要望のあったことについては実現できることから対応しています。



平成 23 年度 学生と鹿田分館長の懇談会（鹿田分館）

日 時： 平成 23 年 6 月 28 日（火）18:00～19:30

会 場： 医学部記念会館 2 階会議室

出席者： 学生 12 名、図書館 7 名

医学部医学科、同保健学科、歯学部歯学科からご出席いただき、予定の 1 時間を大きく超過する盛会となりました。施設・設備、資料、サービス、利用者のマナーなどについて積極的なご要望やご提言を数多くいただきました。2 名掛け閲覧席への間仕切りの設置、有線 LAN の敷設など、いくつかのご要望についてはすでに対応させていただきました。

以下の URL で懇談会の記録等を公開していますので、詳細はこちらをご覧ください。

http://www.lib.okayama-u.ac.jp/campusonly_cms/campusonlydocs.html

附属図書館では、懇談会に限らず随時皆さんの声をお待ちしています。学習環境改善のため、ぜひ積極的にご意見・ご要望をお寄せください。

ご存じですか (六高図書)

情報管理課

岡山大学は、旧制の岡山医科大学、岡山師範学校、岡山青年師範学校、岡山農業専門学校、第六高等学校の5つを母体として昭和24年に発足しました。発足当時はそれぞれの学部には図書室等が設置されていました。昭和30年代に法文学部・理学部・工学部の図書室が中央図書館に統合され、昭和50年代に教育学部・農学部図書室が統合され、現在にいたっています。それぞれの部局図書室には母体となった旧制学校時代の資料が受け継がれ、それらの資料はそのまま、附属図書館の蔵書となっています。

その内の第六高等学校蔵書（通称：六高図書）は、明治33年創立以来第六高等学校（現、岡山市北区古京町 岡山県立朝日高等学校に立地）が収集・累積してきた6万5千冊あまりの図書資料で、新制岡山大学の発足とともに、附属図書館・法文学部（約3万冊）・理学部へそれぞれ移管されましたが、部局図書室の統合と共に中央図書館に集められ、現在では新館6階に配架されています（雑誌や一部資料は混配）。

この六高図書の中には、特殊文庫扱いとなっている小野文庫*、杏村文庫**といった個人文庫も含まれています。（別置）

第六高等学校の書庫は戦災による焼失を免れ今も現存していますが、六校図書の目録カードに「戦災之為消失」と押印されているものもあり、昭和20年6月の岡山大空襲により相当数の蔵書が焼失したのではと想像されます。

六高図書の分類は以下の表の通りです。

1門	哲学・心理学・倫理学・宗教・教育	7門	自然科学
2門	文学	8門	工学・産業・芸術（美術・音楽・演劇・体育・諸芸）
3門	語学		
4門	歴史（各種の歴史を含む）伝記	9門	百科事典・辞典・統計・年鑑・叢書全集・その他
5門	地理・紀行		
6門	社会科学（政治・法律・経済・財政・社会）		



洋書分類

A	哲学・神学・宗教		C	文学		F	人類学	
	a	総記・全集・選集		a	総記・全集・選集		a	人類学
	b	心理・倫理学		b	英米文学	K	産業・美術	
	c	論理学		c	フランス文学		a	
	d	教育		d	ドイツ文学		b	産業
	e	神学・宗教		e	その他		c	美術
	f	社会学	D	歴史・伝記・地理		O	事典・辞書	
	g	その他		a	歴史			
B	言語			b	伝記			
	a	総記・全集・選集		c	地理			
	b	英語	E	法律、政治、社会科学				
	c	フランス語		a	法律			
	d	ドイツ語		b	政治			
	e	その他		c	社会科学			
				d	経済			

和漢書は第1門～9門に分類されていて、明治20年に帝国図書館で作られ、様々な公共図書館等で採用された八門分類とも若干異なっているため、これらを参考にした六高独自の分類ではないかと推測されます。

このほか昭和15年(日獨伊三国同盟締結年)に「獨逸國寄贈圖書」と押印されたドイツ大使館寄贈図書には「獨」の分類が振られたものが和洋併せて90冊程度(別置)あります。このような図書の存在も当時の時代を感じさせるものです。六高図書の中にはもしかすると六高卒業生の仁科芳雄氏、内田百閒氏、郭沫若氏らが手に取り読んだ図書があるかもしれません。

長らく目録カードでしか探せなかった六高図書ですが、現在では遡及入力も順次進めており、蔵書検索システムから容易に探せるようになりつつあります。

(六高資料の利用は開館から17時までです。詳しくは中央図書館カウンターまで)

*小野文庫 岡山県浅口郡船穂町の小野家に伝わる和漢書。江戸時代の歌人 おのれきおう 小野櫟翁、努父子(1759～1854)蔵書を含むと推測。昭和22年に第六高等学校に寄贈され昭和25年に岡山大学が引き継いだ。「平家物語」や「竹取の翁の物語」、「浜松中納言4巻」の写本など貴重な物も多い。

**杏村文庫 土田杏村(1891～1935)の旧蔵書。土田杏村の実兄で画家の土田麦僊と親交のあった大原孫三郎が土田杏村逝去後、遺族から購入し、母校第六高等学校に寄贈されたもの。土田杏村は大正～昭和に渡る思想家・文明批評家であったので、文庫の内容も哲学・思想・宗教・文学・社会学・美術を網羅している。

参考文献:「資料分類法」(鮎澤治, 芦屋清著 東京書籍(株) 1984)

:「岡山大学二十年史」(岡山大学二十年史編さん委員会編 岡山大学 1967)

活用してありますか? “マイライブラリ”

学術情報サービス課

普段図書館を利用して、こんなことを感じたことはありませんか?

「今、どんな図書を借りていて、いつまでに返却だっけ?」 「借りたい本がいつも貸出中…」

「借りている図書を引き続き利用したいけど、図書館まで行かないといけないの…?」

そんな時、マイライブラリの機能が役に立ちます。

○ “マイライブラリ” とは?

図書館情報に関する岡山大学所属の学生の個人ページです。インターネットに接続した環境であれば自宅からでも利用できます。

ログインするにはIDとパスワードが必要です。詳しい利用案内、ログインIDとパスワードの確認は下記のURLをご覧ください。(学内限定)

<http://www.lib.okayama-u.ac.jp/campusonly/mylibrary.pdf>

図書館HPのトップページ、右バナー「Webリクエスト」からもご覧いただけます。

IC学生証を所持していない方は、申請が必要です。大学付与のG-mailアドレスを確認して貸出カウンターにてお申込みください。

○どんなことができるの?

◇貸出状況照会

「いま自分は何を借りているのか」「返却期限はいつなのか」「貸出停止期間はいつまでなのか」知ることができます。

◇資料の予約 (所在が中央図書館で、受取場所が中央図書館の場合のみ。)

※分館の資料に予約をかけることはできません。鹿田分館配架資料は鹿田分館カウンターにてお申込みください。

◇図書の貸出期間の延長

※雑誌、講義関連図書、予約が入っている資料は延長できません。

○マイライブラリの画面

The screenshot shows the 'My Library' page of Okayama University Library. The page has a sidebar with menu items: 'お知らせ' (Notice), '入手待ちの資料' (Waiting for materials), '信用中の資料' (Materials on loan), '操作メニュー' (Operation menu), '設定変更' (Settings change), 'パスワード' (Password), and 'メールアドレス' (Email address). The main content area is currently empty, showing 'お知らせはありません。' (No notices), '入手待ちの資料はありません。' (No waiting materials), and '借りている資料はありません。' (No materials on loan). Callout boxes provide additional information: 1. '現在、貸出されている資料の返却日や、延滞中の資料をお知らせします。' (We will notify you of the return dates of materials currently on loan and materials that are overdue.) 2. '予約等を申し込んだ資料を表示します。' (We will display materials for which you have made reservations, etc.) 3. '貸出状況の照会はこちらから。現在貸出中の資料はこちらに表示されます。ただし、雑誌貸出のもののみです。' (You can check the loan status from here. Materials currently on loan are displayed here. However, only magazine loans are included.) 4. 'ログインパスワードの変更はこちらから。' (You can change your login password from here.) 5. '予約資料が貸出可能になると、大学付与のG-mailに連絡をしますが、それ以外のメールアドレスも連絡先として、追加登録できます。' (When reserved materials become available for loan, we will contact you via the G-mail provided by the university, but you can also register other email addresses as contact information.)

※今後も便利な機能が追加される予定です。

NACSIS-CAT/ILL ワークショップ参加報告

大園隼彦

NACSIS Webcat を知っていますか? Web の利用が日常化している現在、ほとんどの大学図書館はそれぞれ蔵書検索システム (OPAC) を公開しています。NACSIS Webcat は国立情報学研究所 (NII) が提供しているサービスで、これら全国の大学図書館等の蔵書をまとめて検索することができます。

現物貸借・文献複写という図書館サービスを利用したことはありますか? これらは利用者の要求に応じて、図書館間で蔵書 (現物貸借) またはそのコピー (文献複写) の提供を行うサービスです。

本ワークショップでは、主に、これらのサービスを裏側で支えている NII の NACSIS-CAT の運用やそのための人材育成について検討を行いました。NACSIS-CAT は図書館が書誌データ (書名等資料に関するデータ) を共同運用するためのシステムで、書誌データの共同作成による業務の効率化と情報提供機能の強化を目的としています。NACSIS Webcat で全国の大学図書館等の蔵書を一括して検索できるのも、現物貸借・文献複写などのサービスをスムーズに提供することができるのも、その背後に書誌データと蔵書データを蓄積している NACSIS-CAT のデータベースが控えているからです。

NACSIS-CAT については、書誌を共同作成する運用体制が崩れつつあること、電子ジャーナル・電子ブック等の電子リソースへの対応など、時代のニーズに合わなくなりつつあることが指摘されています。本ワークショップでは、運用面については書誌データの共同作成を維持する仕組みの提案と、NACSIS-CAT 運用の効率化と書誌データ充実方法の提案を行い、人材育成面については Web 上の情報を整理することを意識した新しい研修方法の提案などを行いました。なお、本ワークショップの成果物については Web で公開されている (<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/ciws/h23/index.html>) ので、詳細はそちらを参考にしてください。

さて、NACSIS Webcat は平成 24 年度末を持ってサービスを終了する予定です。サービス終了後は、Webcat Plus (平成 22 年 6 月リニューアル公開) 及び CiNii Books (平成 23 年度後半開始予定) の 2 つのサービスを柱に展開されます。Webcat Plus は図書館蔵書に限らず (古書店や新館書店等のデータを含む)、あらゆる資料を網羅的に探したい一般利用者のための検索システムです。目次や内容に関する情報も含み、検索語の関連性を評価して探している資料に関連する資料の情報を提供する「連想検索」を行える特徴があります。CiNii Books は現在の NACSIS Webcat の後継サービスで、図書館資料の貸出や取り寄せを目的とする利用者のための検索システムです。CiNii Books による大きな変更点は、WebAPI の提供で、NACSIS-CAT のデータを活用した検索システムを構築することが可能となります。

時間とともに、インターフェースが変わり、提供する機能も新しく、よりユーザライクなサービスとなっていくのですが、元となるデータは今後も NACSIS-CAT で変わりません。これら情報サービスの基礎となっている書誌データの整備は時代のニーズを考慮しながら維持そして発展させる必要があります。

(おおぞの・はやひこ 基盤グループ)

マスカット

平成 23 年度 池田家文庫絵図展「江戸時代の巨大手描き絵図 国絵図復元！」のお知らせ

平成 17 年度より、岡山市デジタルミュージアムとの共催で開催しています展示会を、今年も以下のように開催します。多数の方にご覧頂き、歴史・池田家文庫に興味を持っていただければと思います。

展覧会名称 企画展 池田家文庫絵図展「江戸時代の巨大手描き絵図 - 国絵図復元！」
岡山県図書館協会 60 周年記念協賛事業

会 期 2011 年 10 月 22 日（土）～11 月 6 日（日）
[休館日] 10 月 24 日（月）、10 月 31 日（月）

[開館時間] 午前 10 時～午後 6 時 入館は午後 5 時 30 分まで

開催場所 岡山市デジタルミュージアム 5 階展示室（〒700-0024 岡山市北区駅元町 15-1）

入 場 料 無 料

内 容 江戸幕府は、全国の大名に命じて、それぞれの国の絵図を何度も作成させていますが、池田家文庫の中の「元禄備前国絵図」はそのひとつです。2010 年、この元禄備前国絵図を復元しようという試みが行われました。現代の研究者、技術者達がこの江戸時代の絵図を復元する過程で、これまで判明していなかった江戸時代の技術や絵図を作る際の考え方などがわかってきました。今回の展覧会では、この現代の復元に使われた図・道具・絵の具など制作関連資料をはじめ、2010 年に復元された絵図も展示します。また、元禄国絵図の作成に関する資料や、作成した絵師の奉公書などもご紹介します。

主な展示資料 「元禄備前国絵図」及び関連資料（箱、郷帳、制作した絵師の奉公書など）、「元禄備前国絵図」復元に要した下図・道具・絵の具など制作関連資料、制作過程を納めたビデオ、パネル類など。

関連行事

開会式

- ・日時 2011 年 10 月 22 日（土）
午前 9 時 45 分～午前 10 時
- ・場所 岡山市デジタルミュージアム
5 階ロビー

オープニングトーク（予約不要）

- ・日時 2011 年 10 月 22 日（土）
午前 10 時～午前 10 時 30 分
- ・場所 岡山市デジタルミュージアム
5 階展示室
- ・講師 岡山大学大学院 教授 倉地 克直



記念講演会及びパネルディスカッション「国絵図復元」(予約不要 先着80名まで)

・日時 2011年10月23日(日) 午後1時30分～午後4時10分

・場所 岡山市デジタルミュージアム 4階講義室

記念講演会「国絵図復元の成果」 午後1時30分～午後2時35分

講師 東京芸術大学大学院 准教授 荒井 経

パネルディスカッション 午後2時45分～午後4時00分

パネラー 東京大学史料編纂所 教授 杉本 史子

東京芸術大学大学院 准教授 荒井 経

電気通信大学 准教授 佐藤 賢一

筑波大学大学院 博士前期課程(芸術専攻書領域) 中村 裕美子

国絵図研究会 会員 青木 充子

司会 東京大学大学院 准教授 中村 雄祐

岡山大学学術成果リポジトリ (OUSAR) が世界16位に躍進

スペイン高等科学研究所が作成する世界機関リポジトリランキング(2011年7月版)において、OUSARが世界16位(1位NASA)、国内3位(1位京都大学、2位北海道大学)の高評価をいただきました。

評価の基準は Visibility (外部サイトからのリンク数)、Size (検索エンジンとの親和性)、Rich File (収録コンテンツ数)、Scholar (Google Scholar からの検索)で、OUSARは Visibility (14位)および、Scholar (56位)で相対的に高評価を得ることができました。

OUSARは、本学の研究・教育成果を蓄積・発信している全文データベースです。この結果が示すように、OUSARで研究成果を公開することで、インターネットでの効果的な情報発信が可能です。学術雑誌、紀要、学位論文など幅広く収録しておりますので、是非ご利用ください。



岡山大学学術成果リポジトリ <http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/Index.e>

著作の登録・公開手順について http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/html/for_author

世界機関リポジトリランキング http://repositories.webometrics.info/toprep_inst.asp

CNN 設置 (中央図書館)

新館1階AVブース(東側4台)でCNN放送の視聴ができるようになりました。

申込みは不要です。テレビの右側のスイッチを「on」にするだけでご覧いただけます。

海外の最新情報に触れたり、語学学習に役立てたり、どうぞご利用ください。

Shibboleth 認証による電子ジャーナル等の学外からの利用について

岡山大学で契約している電子ジャーナル・データベースの一部が Shibboleth 認証で学外から利用できるようになりました。(岡山大学に所属し、岡大 ID をお持ちの方が対象です。)

詳しくはホームページ「学外から利用可能な電子ジャーナル/データベース」(http://www.lib.okayama-u.ac.jp/resources/ejdb_offcampus.html) をご覧ください。

<Shibboleth 認証とは>

- Shibboleth 認証は、複数サービスへのログインを共通化してスムーズに利用できるセキュアな仕組み(シングルサインオン)です。岡山大学では岡大 ID とそのパスワードを使用します。
- VPN 接続を行うことなく、この Shibboleth 認証だけで各サービスを利用できます。
- 一度ログインしておく、ブラウザを閉じるまで認証が継続するので、対応している他のサービスを使った場合、ID とパスワードを再入力する必要がありません。

<利用できる電子ジャーナル・データベース・電子ブック>

- SciVerse ScienceDirect
- SpringerLink
- Web of Science & Journal Citation Reports
- CiNii
- EBSCO host (CINAHL, MLA, eBook Collection)

企画・展示(中央図書館)

平成 23 年度より中央図書館ではミニ展示を行っています。館内でミニ展示を見かけた際は、ぜひ手にとってみてください。

今までのミニ展示のテーマは以下のとおりです。

- 4 月 「『岡山』を読む」
本館 1 階(新館入口近く)にて
- 5 月 「レポート・論文の書き方」
本館 1 階(新館入口近く)にて
- 6 月 「原発とエネルギー問題」
本館 1 階(新館入口近く)にて
- 7 月 「『本』について読む」
本館 1 階(新館入口近く)にて
- 8 月 「『数学』を読む」
本館 2 階アメニティコーナーにて



中央図書館と鹿田分館の相互返却サービス開始のお知らせ

中央図書館、鹿田分館それぞれで借りた図書をどちらの図書館でも返却できるようになりました。

ただし、雑誌、視聴覚資料、図書館間相互貸借による貸出資料は対象外です。従来通り貸出をした図書館に直接ご返却ください。

オープンキャンパス報告

平成23年8月5日(金)、6日(土)のオープンキャンパスに合わせ、附属図書館では以下の企画を実施しました。2日間で中央図書館1,939名、鹿田分館115名の高校生、保護者の方にご来館いただきました。

●中央図書館

・教科書展示(玄関前)

シラバスに掲載された教科書を展示しました。

・植物研分館所蔵貴重資料ミニ展示(新館1階新聞コーナー)

植物研分館の貴重書から「江戸・明治の朝顔」のミニ展示を実施しました。

・池田家文庫絵図複製展示(新館2階ロビー)

図書館で所蔵している池田家文庫から御後園絵図等の複製を展示しました。

●鹿田分館

・岡大医学生・歯学生の生活と図書館(1階ロビー)

学生生活や学習活動と図書館の関わりについて展示しました。



資源植物科学研究所分館一般公開について

平成23年5月14日(土)に資源植物科学研究所の一般公開が行われました。今回で10回目となりました。研究所で行われている研究内容を紹介するもので、470の方が来所されました。図書館でも、開催中の企画展示「四季の花々 貴重書で見る東西の植物画 第二弾」に、ダーウィン自筆の献辞がある図書等を加えて、展示しました。また、クイズラリーの問題も展示物から出題されました。約290の方が来館され、貴重図書の絵ハガキをプレゼントしました。

資源植物科学研究所分館企画展示について

資源植物科学研究所分館では、平成23年7月19日(火)～9月30日(金)に、企画展示「咲き誇る花々 貴重書で見る東西の植物画 一・二年草編」を開催いたしました。所蔵している貴重図書に広く触れていただくため、さまざまな展示を企画していますが、第5回目として、前回に引き続き、植物に関する資料から植物画の展示を企画しました。今回はアサガオやヒマワリなどの一・二年草を取り上げました。内容は、写真による記録がなかった時代に、植物の特徴を正確に描写した植物画について、貴重図書の現物展示と合わせて、色鮮やかな植物画の図版を写真パネルで紹介するものでした。



おすすめ図書コーナー設置（中央図書館）

中央図書館では本館1階マイクロリーダー前に「おすすめ図書コーナー」を設置しました。話題の本や人気の小説を置いています。ちなみに、「おすすめ図書コーナー」における貸出人気ランキング20冊は以下のとおりです。

順位	資料名	著者名	回数
1	パラレルワールド・ラブストーリー	東野圭吾	14
1	これからを生き抜くために大学時代にすべきこと	許光俊	14
3	カッコウの卵は誰のもの	東野圭吾	13
4	宵山万華鏡	森見登美彦	12
4	アドルフに告ぐ 3：新装版	手塚治虫	12
4	アドルフに告ぐ 2：新装版	手塚治虫	12
4	ダイイング・アイ	東野圭吾	12
4	神様のカルテ 2	夏川草介	12
4	ダーリンは外国人 [1]	小栗左多里	12
4	放課後はミステリーとともに	東川篤哉	12
11	夜は短し歩けよ乙女	森見登美彦	11
11	化物語 上	西尾維新	11
11	ブッダ 4 (手塚治虫漫画全集:287-300)	手塚治虫	11
11	ブッダ 8 (手塚治虫漫画全集:287-300)	手塚治虫	11
11	海の底	有川浩	11
11	新参者	東野圭吾	11
11	アドルフに告ぐ 1：新装版	手塚治虫	11
11	アドルフに告ぐ 4：新装版	手塚治虫	11
11	ラブ・ケミストリー	喜多喜久	11
11	終末のフール	伊坂幸太郎	11

<集計期間>2011/04/01～2011/08/31

平成23年度岡山大学公開講座「池田家文庫絵図をもって岡山を歩こう」報告

第一回「池田家文庫城下町絵図について」

講師：岡山大学社会文化科学研究科教授・倉地克直氏

日時：平成23年5月28日（土）13時30分～15時30分

場所：岡山県立図書館多目的ホール

参加者：37名

城下絵図をスクリーンに映しながら絵図を見る時のポイントをお話されました。会場の壁には城下絵図などの複製を展示しました。

第二回「絵図をもって岡山城を歩こう」

講師：岡山市教育委員会・乗岡実氏

日時：平成23年6月11日（土）13時～15時

場所：岡山城内

参加者：23名

岡山城の内下馬門を出発し、本丸までを丁寧な説明を受けながら進みました。皆さん、最後まで熱心に説明に聞き入っておられました。

学内無線 LAN スポット増設のお知らせ

平成22年度末より附属図書館内で無線LANを利用できるエリアが増えました。どうぞご利用ください。

なお、学内無線LANの詳細につきましては、情報統括センターの「学内無線LANサービス」のページ (<http://www.okayama-u.ac.jp/user/citm/service/wlan/wlan.html>) をご覧ください。

■ 利用可能なエリア (New が今回増設されたエリア)

<中央図書館>

- ・本館2階 グループ学習室 (New)
- ・本館2階 アメニティコーナー付近
- ・本館3階 西閲覧室
- ・新館3階 ラウンジ (New)
- ・新館4階 共同研究室 (New)
- ・新館4階 研究個室

および西閲覧室南付近

<鹿田分館>

- ・1階
- ・2階
- ・3階 (New)

<植物研分館>

- ・史料館2階 (New)
- ・史料館3階 (New)

SciFinder のクライアント版から Web 版への全面切り替えについて

現在ご利用いただいております SciFinder のクライアント版はサポート終了のため、本年11月末をもって、すべて Web 版に切り替えます。

Web 版の利用にあたっては、ユーザー登録が必要となり、インターフェースもクライアント版とは異なります。ただし、クライアント版の開発は 2007 年で終了しているため、Web 版でしか使えない機能も多々あります。

サービスについてのご質問、ご要望は化学情報協会のヘルプデスクまでお問い合わせください。

■ 化学情報協会ホームページ <http://www.jaici.or.jp/helpdesk/index.htm>

技術的なご質問 (テクニカルグループ 平日 9:00-17:30) TEL:0120-003-462

その他のご質問 (カスタマーグループ 平日 9:00-17:30) TEL:0120-151-462

特に下記の e-learning は1セッション10分以内で、何時でもどこでもお試しいただけるものとなっておりますのでご利用ください。

■ SciFinder e-learning サイト (日本語) <http://www.jaici.or.jp/sci/elearning/index.html>

■ SciFinder e-learning サイト (英語) <http://www.cas.org/support/scifi/tutorials.html>

平成23年度「池田家文庫 こども向け岡山後楽園発見ワークショップ」(夏) 報告

平成23年7月17日(日)に岡山大学教育学部と附属図書館の共催による「池田家文庫こども向け岡山後楽園発見ワークショップ」(平成23年度夏)を開催しました。通算第10回目となる今回は晴天に恵まれ、参加者の小中学生31名(同伴者と併せて合計75名)が、教育学部の学生とともに巨大複製絵図を使ったクイズや、後楽園の散策を楽しみました。



今年度は平成24年2月19日(日)に第2回目の開催を予定しています。

オリエンテーション・データベース講習会開催報告(中央図書館)

平成23年4月～7月にかけて以下のとおり実施し、延べ1,482名の参加がありました。

<図書館オリエンテーション>

実施日：平成23年4月5日～6月8日

実施回数：38回

参加人数：1,354人

内容：中央図書館利用案内、蔵書検索のデモ、館内ツアー

<文献入手講座入門編>

実施日：平成23年5月2日、平成23年6月1日～6月6日

実施回数：7回

参加人数：47人

内容：文献探索概説、文献情報の読み方と書き方、データベースの使い方、学外への資料取り寄せの方法、その他新任教員向け図書館オリエンテーション

<新任教員向け図書館オリエンテーション>

実施日：平成23年4月1日、4月4日

実施回数：2回

参加人数：21人

内容：中央図書館利用案内、図書・雑誌の購入について、文献複写・相互貸借について、他

<データベース講習会>

実施日：平成23年6月29日～7月1日

実施回数：6回

参加人数：60人

内容：Web of Science、EndNote Web、Biological Abstracts、Inspec、Econlit

オリエンテーション・データベース講習会開催報告（鹿田分館）

鹿田分館では、平成23年4月にオリエンテーションを、5～7月にデータベース講習会を開催し、延べ506名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

	日時	対象	参加者数
1	4月1日（金）	医・保新入生	210
2	4月4日（月）	医・医2年次編入生	5
3	4月8日（金）	院医歯薬修士新入生	20
4	4月8日（金）	医・医新入生	115
5	4月12日（火）	歯・歯新入生	50
6	4月20日（水）	院医歯薬博士学生	25
計			425

データベース講習会

	日時	講習会名称	参加者数
1	5月2日（月）18:00-19:00	文献検索基礎（看護学）	12
2	5月13日（金）18:00-19:00	文献検索基礎（生命科学）	5
3	5月19日（木）13:30-15:00	文献検索基礎（看護学）	1
4	5月20日（金）18:00-19:00	PubMed（基礎）	7
5	5月23日（月）18:00-19:00	医中誌 Web	9
6	5月30日（月）18:00-19:00	CINAHL（基礎）	5
7	6月6日（月）18:00-19:00	EndNote Web（基礎）	16
8	6月29日（水）18:30-20:00	Web of Science, JCR, EndNote Web	10
9	6月30日（木）18:00-19:30	EBM Reviews	4
10	7月21日（木）18:30-20:00	CINAHL	12
計			81

オリエンテーション・ガイダンス（資源植物科学研究所分館）

資源植物科学研究所の新入生対象にオリエンテーション（平成23年4月11日）を、農学部の新入生対象に見学会（4月25日）を、それぞれ実施しました。内容は図書館の概説と利用案内です。館内案内および展示資料の説明をしました。約130名の方に参加いただきました。

教員からの寄贈図書リスト

次の方々から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

〈中央図書館〉※教員業績コーナー（本館1階）に配架

- 安藤美華代 [教育学研究科]
 子どもの発達障害・適応障害とメンタルヘルス
 ——ミネルヴァ書房, 2010.5 (371.43/K)
- 飯田洋介 [教育学研究科]
 ビスマルクと大英帝国——勁草書房, 2010.8 (319.34/B)
- 沖 陽子 [環境管理センター]
 事業成果中間報告書：学都・岡大発女性研究者が育つ進化プラン
 ——岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室, 2011.3 (F367.2/J)
- 河本 修 [自然科学研究科]
 技術者のための特許英語の基本表現——朝倉書店, 2011.2 (507.23/K)
- 神山弘行 [社会文化科学研究科]
 相続・贈与税制再編の新たな潮流——日本住宅総合センター, 2010.6 (345.5/K)
- 下定雅弘 [社会文化科学研究科]
 長恨歌：楊貴妃の魅力と魔力——勉誠出版, 2011.4 (921.43/S)
 白楽天——角川学芸出版, 2010.12 (921.43/H)
- 姜 克實 [社会文化科学研究科]
 石橋湛山の戦後：引き継がれゆく小日本主義
 ——東洋経済新報社, 2003.11 (289.1/I)
- 戸部和夫 [保健管理センター（寄贈時）]
 エイズと心の旅路：キャンパスライフとメンタルヘルス
 ——コンテンツ, 2010 (DVD493E)
- 中東靖恵 [社会文化科学研究科]
 日本語教育史論考——冬至社, 2011.6 (810.7/N)
- 久野修義 [社会文化科学研究科]
 日本中世の寺院と社会——塙書房, 1999.2 (185.91/H)
- 藤井浩樹 [教育学研究科]
 子どもの自然体験と授業づくり——東洋館出版社, 2007.10 (375.422/H)
 知識を活用する力を育てる授業づくり——東洋館出版社, 2009.10 (375.422/H)
 ドイツ化学教授学の成立に関する研究——風間書房, 2010.2 (372.34/F)
- 淵上克義 [教育学研究科]
 教育相談・生徒指導に関する教育改善研究
 ——岡山大学大学院教育学研究科学校教育臨床専攻, 2002.3 (F371.4/K)
- 古松 崇 [社会文化科学研究科]
 オアシス地域の歴史と環境——勉誠出版, 2011.3 (222.17/O)
- 松田陽一 [社会文化科学研究科]
 企業の採用活動に関する研究報告書——岡山大学経済学部, 2011.6 (F336.4/K)
 組織変革のマネジメント——中央経済社, 2011.4 (336.3/M)

- 三宅新三 [社会文化科学研究科]
 モーツァルトとオペラの政治学——青弓社, 2011.4 (766.1/M)
- 山口信夫 [社会文化科学研究科]
 ヨーロッパ的なもののルネサンス——倉地克直, 2007.3 (132.3/Y)
 フランス思想史序説——岡山大学文学部, 2010.2 (135/Y)
- 遊佐 徹 [社会文化科学研究科]
 近代アジアにおける表象観念と文化——岡山大学文学部, 2011.3 (302.2/K)

〈鹿田分館〉

- 岩月啓氏 [医歯薬学総合研究科]
 Skin cancer : a world-wide perspective——Springer, c2011 (494.8/SK)
 稀少難治性皮膚疾患に関する診療の手引き
 ——稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究班事務局, 2011.3 (494.8/KI)

岡山大学出版会からの寄贈図書リスト

- 荒木 勝 [理事], 下定雅弘 [社会文化科学研究科], 山口和子 [社会文化科学研究科]
 東北アジアの幸福観——岡山大学出版会, 2011.3 (361.5/T)
- 安藤美華代 [教育学研究科]
 臨床健康心理学——岡山大学出版会, 2010.10 (490.14/R)
- 岡山大学生物学教科書作成グループ
 現代生物学入門——岡山大学出版会, 2011.3 (460/G)
- 岡山大学放射線教育研究会
 放射線実験学——岡山大学出版会, 2010.9 (429.4/H)
- 塚本眞也 [自然科学研究科]
 個性判定 : 個性を知れば良い対人関係が築ける
 ——岡山大学出版会, 2011.3 (141.939/T)
- 三浦孝仁 [キャリア開発センター]
 大学生からはじめるキャリアデザイン——岡山大学出版会, 2011.3 (F366.2/D)

(敬称略五十音順)

会議

◆学外

- 23.4.21～22 第59回中国四国地区大学図書館協議会
第38回国立大学図書館協会中国・四国地区協会総会（於 鳥取市）
- 23.5.20 第82回特定非営利活動法人日本医学図書館協会通常総会
（於 愛知学院大学楠元キャンパス）
- 23.6.6 岡山県図書館協会総会（於 岡山県立図書館）
- 23.6.10 岡山県大学図書館協議会総会
（於：川崎医療福祉大学）
- 23.6.16～17 第58回国立大学図書館協会総会・マネジメント・セミナー（於 広島）
- 23.7.11 第13回国立国会図書館と大学図書館との連絡会（於 国会図書館関西館）
- 23.7.22 第70回国公私立大学図書館協力委員会
（於 関西大学）

◆学内

- 23.4.27 平成23年度第1回附属図書館運営会議
- 23.5.18 平成23年度第1回附属図書館運営委員会
- 23.6.14 平成23年度第1回出版会運営委員会
- 23.6.21 平成23年度第2回附属図書館運営会議
- 23.7.13 平成23年度第1回附属図書館運営委員会植物研分館分科会
- 23.7.21 平成23年度第1回附属図書館運営委員会鹿田分館分科会
- 23.7.27 平成23年度第2回附属図書館運営委員会

研修

- ・アプリケーション研修
参加者 山根 博 (23.4.22)
- ・安全衛生集中講習会
参加者 山本 聡之 (5.20)
- ・安全衛生集中講習会
参加者 富田 健市、大元 利彦、山根 博、竹下 啓行、山田 智美、大園 隼彦、田中 智 (6.1-3)
- ・第2回男女共同参画に関する管理職セミナー
参加者 富田 健市、杉本 朋貞 (6.15)
- ・文書管理研修会
参加者 山本 聡之、犬飼 恵美子 (6.23)
- ・新任管理職研修
参加者 富田 健市、山根 博 (6.28)
- ・NACSIS-CAT/ILL ワークショップ
参加者 大園 隼彦 (7.20-22)
- ・平成23年度学術ポータル担当者研修
参加者 中山 千佳子 (8.3-5)
- ・ILL システム講習会
参加者 依田 典子 (9.12)
- ・第4回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー
参加者 田中 智 (9.15-16)

編集委員会から

読書の秋を迎えました。図書館には学術書などカタイ本ばかりではなく、小説なども置いてあります。人気がある本を集めた「おすすめ図書コーナー」にも、ぜひ立ち寄ってみてください。読みたい本が図書館に置いてない場合は、購入希望を出すこともできます。また、もうじきブックハンティングという学生のみなさんと書店に行って図書館に置く本を選ぶイベントも行われますので、ぜひご参加ください。

岡山大学附属図書館報「楳」 No.53 平成23年10月1日

発行人 富田健市 編集 広報誌編集委員会

岡山大学附属図書館発行 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1-1 電話 086-252-1111

ホームページ URL <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/>